

四日市 尾平チアーズクラブ



四日市は日本で初めてできた石油コンビナートの行です。普段は見ることのできないコンビナートの中を見学しました。コンビナートは石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料を外国から船で輸入しています。世界から毎日たくさんの船が入る国際物流の港をみてエネルギーは世界とつながっているとおどろきました。

集合煙突直径6m
高さ180m 空気が汚れるのを防ぐ装置、煙突のあふれると取り除く装置を出します。



今では、アクリルやプラスチックに比べて、色鮮やかで環境にも優しい。臭気も少なく、コンビナートの近くにある四日市に唯一残った自然の海、地域の文化と清掃活動や環境の勉強会を開催して、海は山、そして世界とつながっています。その自然を取り戻した海をみながら、学びながらこの四日市の環境を学んでいきたいです。みなさんと四日市でつながって化石燃料に代わるエネルギーについて体験学習をしました。

化石燃料をあまり使わず、温暖化を少しでも防止することが大切だと分かりました。
6年 杉浦康夫



服やプラスチックなど化石燃料は日常に欠かせないものですが、使いすぎには、良くないと思いました。
6年 船越 咲希



公害の経験からもう二度と同じことをくりかえさないようにしています。
四日市ときくと公害と思ってしまうかもしれませんが、今はとてもきれいで、ほかの人にも知ってほしいです。
6年 船越 咲希



公害の経験からもう二度と同じことをくりかえさないようにしています。
四日市ときくと公害と思ってしまうかもしれませんが、今はとてもきれいで、ほかの人にも知ってほしいです。
6年 船越 咲希

化石エネルギー

化石燃料の石油は、ガソリンや灯油、プラスチックの原料に使われて、石炭や天然ガスは、発電に使われます。化石燃料を使うと二酸化炭素が増えて地球温暖化につながります。工場から出る煙は空気を汚さないように煙突を高くしたり煙をきれいにする装置を開発したりしていきま。また工場排水は微生物に分解させたりしてきれいにしてから工場の外へ流しています。四日市公害の経験から地球の空気や水を汚さないように工夫して一生懸命に努力していること分かりました。



植物のエネルギー

もみから生まれたエコ燃料とは!

モミガラライト
お米を食った残り、持続可能な燃料エネルギー

11月 **もみからくんたん**

モミガラライトはもみからをリサイクルして固形にした環境にやさしいエコ燃料です。原料は100%もみからです。1kgの重量は少ないが、3kgに比べて燃焼時間が長持ちします。

稲穂のもみからからもみからくんたんを作り、くんたんを利用して肥料ができる。燃料にリサイクルできるゴミも減ります。
もみからくんたん器に脱穀した後のもみからを混ぜて燃やします。

もみの水分は抜いた状態にして燃やして灰にすると、灰は肥料になります。灰は田んぼに肥料とします。お米の残りの灰もできます。

わらやもみの活用

いね刈後、もみをとるポンクや秋刈処理をします。ポンク後はわらやもみで燃やして灰を回収し、灰は肥料としてお米以外の部分の活用について学びました。

11月

家庭から出る生ゴミを、もみからやわらポンク等の材料を模範に入れて、その量を減らし、堆肥化してリサイクルゴミ削減を学びました。
ゴミ削減は、エコエネルギーを便り、環境にとってもやさしい取り組みです。
ポンクボールは自然界と同じ微生物の力を活用して生ゴミを肥料へと変化させる。生ゴミの処理を家庭でも行いたいという声。

● 汚く、太く、米にわらや、わら
● モミ、肥料 モミからくんたん
● 又か、食用油、石けん、ついでもの

田んぼで米作りは、お米にいのちを吹きかけて育てます。今年では、お米を育てたお米の灰は、灰にしてお米一粒残さず食べたいです!!

太陽のエネルギー

田んぼの学校で昔の米づくりに挑戦しました。お米は水、太陽温度、肥料が必要で米づくりは、太陽のエネルギーをうけていることが分かりました。田植えは、苗を手で植えて収穫はかまを使って手で刈りました。脱穀は千羽こきという道具で行いました。昔ながらの米づくりはとても手間がかかりました。人間のエネルギーはたくさんいるけど地球にやさしいやり方です。

植物は太陽の光のエネルギーを栄養に変えて育ちます。人間は植物の成長の手助けはできますが天候を左右することはできません。植物は太陽エネルギーによる恵みで育ちます。しかし、人間が化石燃料を使いすぎると、地球が汚れてしまい、地球温暖化で天候が乱れて植物が枯れたりします。そんな中、農家の人は稲を何本も育てていると考えると苦勞は測り知れません。収穫祭のお餅つきは、大人も子供もお米を収穫できたことに感謝して、残さずいただきました。感謝のエネルギーがたくさんありました。

太陽のエネルギーは植物の生長にとっても大切だと分かりました。
5年 藤 ありさ

脱穀をやって、お米を収穫して、お米が早くお米づくりに使われると、地球にやさしい、大変さが分かる感謝の気持ちがいっしょになりました。
5年 小林 莉

きわでおもちゃをつくるのがおもしろかったです。